

南禅寺界限観察会

日時 : 2023年(令和5年)1月27日(金) 雪

集合時間・場所 : 10:00 集合 京都市営地下鉄御陵駅改札口

参加者 : 16名 (欠席7名) 実習生2名 計18名

行程 : 10:00 ⇒ 天智天皇陵 ⇒ 琵琶湖疎水 ⇒ 11:40 蹴上
インクライン ⇒ 12:40 京都市国際交流会館で昼食・打ち合わせ
⇒ 13:30 南禅寺「三門」「水路閣」⇒ 14:10 解散 蹴上駅へ

作成者 : 大東齡子



御陵駅から雪が降る中、天智天皇山科陵へ

担当の挨拶、実習生2名紹介

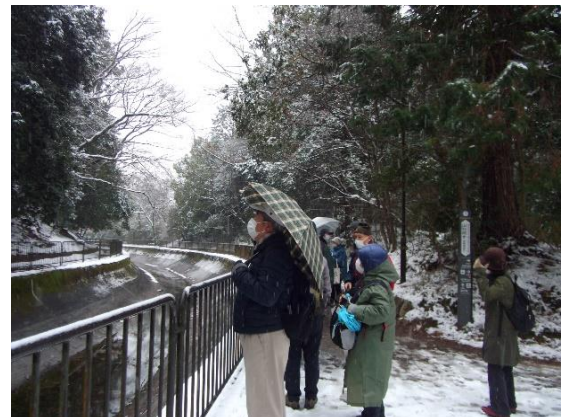


雪をかぶったカナメモチ、トウネズミモチ、シャシャンボを観察



大川内さんより天智天皇陵の説明

山科（琵琶湖）疏水 水量が少なかった。



地下鉄で御陵駅から蹴上駅へ

琵琶湖疏水船溜に到着

松田さんから桜満開の写真



石川さんより「琵琶湖疏水」について、大川内さんより「本願寺水源」について説明



「田邊朔朗博士像」工部大学(東京大学)を卒業したばかりの21歳の土木技術者で琵琶湖疏水を設計監督。



「義経地蔵」平家の武者と従者9人の馬が蹴り上げた水で衣服を汚された義経が9人を切り殺しそれを悔いて作らせた石仏9体のうち3体が残り、そのうちの1体。「蹴上」の地名の由来にもなる。



「ねじりまんぼ」
(ねじりのあるトンネル)

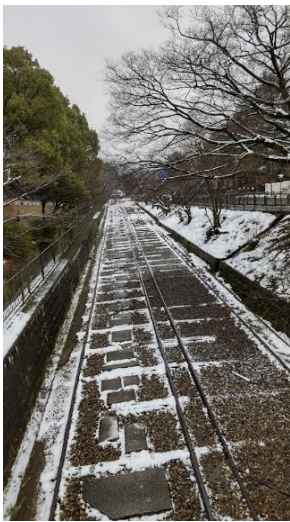


「京都市国際交流会館」で昼食

実習生のお二人



「インクライン」から「南禅寺」へ



石川五右衛門が生きていた時には出来ていなかった「三門」



つらら



「法堂」

マンリョウ 雪をかぶったカクレミノ、タラヨウの実





「水路閣」琵琶湖疏水事業の一環として
田邊朔朗が南禅寺の景観に配慮して設計。
橋脚のアーチと縦のアーチの2つの異なる
大小のアーチが美しい。サスペンスドラマ
のロケ地としてよく使われる。

水路閣の上を流れる疏水分線⇒



担当より終わりのあいさつ

実習生のお二人、お疲れ様でした



蹴上駅に向けて帰る途中、インクライン(傾斜鉄道)の船を載せる台車

